



令和4年度「翠松祭」

10月21(金)2年ぶりに阿賀野高校の文化祭である「翠松祭」を開催しました。コロナ禍であり、一般の観覧は見送り、校内で生徒間の催しとしました。テーマは「輝望(きぼう)～みんな煌めく物語」。一人一人の生徒がクラスの催しに関わり、活躍し、それぞれ輝けるようにメッセージが込められました。

開会式のあと体育館で国語科清田先生の箏曲披露に始まり、ダンス同好会による演舞と続き、11時半から校内での公開となりました。



< 箏のソロ演奏 >



< ダンスパフォーマンス >



クラスで企画を考え、事前準備で段ボール等をお店から頂き、飾り付けに専念し、食品販売では前売りチケットを作り、校内の先生方に売るなど、コロナ禍で翠松祭のイメージを持たない生徒たちでしたが、自ら考えて「翠松祭」という行事をより良くしようと奮闘していました。



< インスタ映えスポット >



< 販売の様子 >



< ショコラ亭 > < 射的・輪投げ > < フォトスポット >



【企画賞】最優秀賞は「ダンス同好会」優秀賞3-3
【企画ポスター展】優秀賞は3-3 となりました。
生徒たちの思いが一つになり、阿賀野高校「翠松祭」の文化は後輩に継承されると確信できました。

校舎の日々の風景をHPにもアップしております。御覧ください。

人権教育、同和教育講演会

10月25日(火)の午後に「ちよとところをかしてくれませんか」と題して、ヒューマンバンド「熱と光」代表 宮崎 保 様から御講演いただきました。毎年下越北地区の高校が合同で講師をお招きして地区の学校を巡回して意識啓発をするものです。「一度や二度の失敗で自信をなくさないで欲しい。40歳からロードレース、45歳からバンド活動。夢を求めるのに年齢は関係ない。多くの挫折から生きる喜びを学んで欲しい」と力強いメッセージをいただきました。



< メッセージを熱く伝える宮崎氏 >



< 生徒とコラボ演奏 >

生徒会役員選挙

11月10日(木)に立会演説会を行い、令和5年度生徒会役員選挙が行われました。11月1日の選挙公示から立候補者の発表、そして投票が行われ、生徒会長に米山愛唯さん、副会長に鹿間裕斗さん、おなじく副会長に渡邊柚奈さんが信任されました。



< 候補者の演説 > < 演説を精査 > < 候補者の演説2 >

JR大宮駅・阿賀野産直市参加

11月17日(木)に3年生生徒7名がJR大宮駅で開催された阿賀野産直市で販売の手伝いをしてきました。当日は阿賀野市の物産品を販売する地元のお店の商品を道行く人に売り込み、積極的に販売に貢献しました。そして JR 大宮駅での券売機での仕組みを教えてもらい、また貴賓室へ案内されました。阿賀野高校生として阿賀野市の発展のために出来ることを実際に体験していきたいと思えます。



< 販売する生徒たち > < JR 大宮の貴賓室 > < JR 大宮駅の中核へ >



< 校長のひとり言 > コロナ感染症への警戒を怠ることなく、県外で生徒が活動に参加できるようになってきました。修学旅行も対策をしつつ行います。立冬が過ぎ、校舎の周辺の木々は綺麗に色づいています。秋の自然美が、生徒たちの学校生活への意欲に貢献していると感じます。